平成29年度事業報告書

平成30年6月30日

さいたま市見沼区蓮沼782番地5
特定非営利活動法人 みぬまで暮らす会
代表理事　長沼 和子
電話番号　048－796－0295

1 事業の成果

・コミュニティカフェ「みぬまハウス」は月～金曜日の午前10時～午後4時オープン。誰でも立ち寄れる「地域の居間」として定着してきた。
・ミニディサービス事業としての「くらぶ活動」は、ボランティア講師の協力を得て10種類を継続中。独居高齢者の孤独の解消の場として、助け合い活動への理解の場として成果をあげている。
・地域産品等紹介事業では手作り品の展示販売の依頼をする会員が増えた。
・福祉有償運送の利用者が増えた。運転者は4名限定なので他の活動との重複でシフトが大変。
・生活支援サービスも利用者が増えた。サポーターを募っているが、思うようにはなかなか増えない。支援依頼は原則として断らないようにしている。理事たちが大変な思いをしながら頑張っている。
・介護保険の訪問介護事業は、利用者は増えるが入院等で減ることもあり、不安定。ヘルパーの確保が常に課題。
・レンタルスペースとして、英会話、ウクレレ、鉛筆画教室に場所を提供。地域の人たちの文化交流の機会となっている。
・「まちの保健室」も続行、毎月第3水曜日に開催している。ベテランの訪問看護師を中心に、11月からは「最期まで在宅で暮らせるの？」をテーマに開催している。
・前年度に引き続き毎週金曜日と日曜日に「介護者カフェ」を開いた。介護者だけでなく、地域の高齢者が「日曜日にも開いていてよかった」と来店している。
・移送サービスの利用を希望して入会してくる高齢者が増大。年度末会員数は162名となった。
・今年度も総合事業の「地域の担い手研修」に4名出席。続けて、当会内でも研修会を行った。
・見沼区主催の「見沼区市民ネットワーク交流会」では幹事団体を務め、地域の交流に尽くした。
・見沼区主催の「見沼区西部圏域ケアマネ勉強会」に参加。地域の介護の状況を学んだ。
・大和田銀座商店会の催事や「見沼区ふれあいフェア」に参加し、まちづくりの推進に協力した。
・堀崎町自治会館の文化祭に参加、絵手紙くらぶの生徒作品を展示し、地域自治会と連携した。

2 事業の実施に関する事項（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（1）特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	受益対象者の人数	支出額（千円）
コミカフェ事業	コミュニティカフェ	月～木	みぬまハウス	2人／1日	一般	不特定多数	67
ミニデイサービス事業	くらぶ活動 手芸くらぶ 麻雀くらぶ 仏典喫茶 歌声喫茶 囲碁くらぶ 絵手紙くらぶ 源氏物語カフェ イキイキ百歳体操	 4回／月 4回／月 1回／月 1回／月 1回／月 1回／月 1回／月 2回／月					35
地域産品等の紹介事業	地域産品販売 手作り作品展示販売	月～金・日					1,561
各種相談・情報提供事業	介護者カフェ まちの保健室	金・日 1回／月					1,075
＊ みぬまハウスの事業全体に係る人件費その他経費							2,402
生活支援サービス事業		随時	利用者宅	1人／1回	会員	延409名	429
福祉有償運送事業		随時		4人	会員	延268名	339
訪問介護・介護予防訪問介護事業		随時		10人	一般	延116名	2,824
講座・イベント開催事業	見沼区民ふれあいフェア		見沼区役所		一般	不特定多数	6
	堀崎町文化祭		堀崎会館		一般		2
	ハロウィン		商店街		一般	160名	1
						合　計	8,741

厳正に監査の結果、上記報告のとおり相違ありません。

平成30年5月19日

監査　長沢 隆司